

令和4年12月

各位

北九州市保健福祉局長 永富 秀樹

北九州市高齢者等実態調査への協力について(お願い)

日ごろから北九州市の保健福祉行政にご理解をいただき、誠にありがとうございます。
このたび、北九州市では、高齢者等の保健福祉に関する意識やニーズを把握するため、標記の調査を実施することといたしました。この調査は、高齢者をはじめとした市民の皆様が、住み慣れた地域や家庭で安心して暮らしていけるよう、今後の高齢者福祉施策の推進に役立てるためのものです。

つきましては、ご多用のところお手数をおかけいたしますが、この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

***4ページ以降の調査項目に直接ご記入後、同封の返信用封筒にて、切手を貼らずに
令和5年1月10日(火)までにご返送(投函)いただきますようお願い申し上げます。**

*調査の対象となられた方は、令和4年10月1日現在、北九州市内にお住まいで介護保険の要支援・要介護認定を受けておられる65歳以上の方から、無作為に抽出させていただきました。

*お答えいただいた内容につきましては、調査結果の統計の目的以外に使用することは一切ございません。

*調査対象者ご本人に聞き取りの上、ご家族の方等がご記入いただいても構いません。

◇同封の書類 ・調査票(在宅高齢者用) 1部
・返信用封筒 1枚

《この調査に関するお問合せ先》

※この調査は北九州市が下記に委託しています。

株式会社 サーベイ リサーチ センター (担当:下村、中村)

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東二丁目6番26号

電話番号:0120-644-888 [月~金曜日(祝日を除く)。10時~12時・13時~17時]

(高齢者等実態調査担当)

北九州市保健福祉局長寿社会対策課

〒803-8501 北九州市小倉北区内1-1 電話番号:582-2407

北九州市高齢者等実態調査

《令和4年12月調査》

在宅高齢者用

*この調査票は、65歳以上(令和4年10月1日現在)の方を対象としています。

*調査票の記入にあたって

- ①記入にあたっては、黒または青インクのペンまたはボールペンを使用してください。
- ②各設問の当てはまる番号に、○をつけてください。

以下の内容については、調査対象者ご本人がお答えください。なお、ご記入は、ご家族の方等による代筆でもかまいません。

※「要介護認定データ」の活用について、おたずねします。

今回、お答えいただいたアンケート内容に加え、あなたの要介護認定データ(認定調査、介護認定審査会のデータ)を調査結果の統計に活用することに同意いただけるでしょうか。

同意いただけた方のみ、データを活用させていただきます。なお、要介護認定データ(認定調査、介護認定審査会のデータ)は、調査結果の統計の目的以外に使用は致しませんので、ご協力をよろしくお願いいたします。

いずれか一つに○。

1 はい、同意します。

2 いいえ、同意しません。

*最初に、調査対象者ご本人(要支援・要介護の高齢者)のことについて、おたずねします。

問1 あなたの性別についてお聞かせください。

いずれか一つに○。

1 男

2 女

3 無回答

問2 あなたの年齢はどちらにあたりますか。

いずれか一つに○。

1 65～69歳

2 70～74歳

3 75～79歳

4 80～84歳

5 85～89歳

6 90～94歳

7 95～99歳

8 100歳以上

問3 あなたのお住まいの区はどちらですか。

いずれか一つに○。

1 門司区

2 小倉北区

3 小倉南区

4 若松区

5 八幡東区

6 八幡西区

7 戸畑区

問4 あなたの要介護度等はどちらにあたりますか。

いずれか一つに○。

1 要支援1

2 要支援2

3 要介護1

4 要介護2

5 要介護3

6 要介護4

7 要介護5

問5 あなたは現在、どなたと一緒に暮らしていますか。養子の方も含めてお答えください。

あてはまるものすべてに○。

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 配偶者(あるいはパートナー) | 2 親(配偶者の親を含む。) |
| 3 子(子の配偶者を含む。) | 4 孫(孫の配偶者を含む。) |
| 5 その他(親族以外も含む。) | 6 同居者はいない |

問6 現在お住まいの住居の種類はどちらに該当しますか。

また、次の選択肢のうち、「3」と答えた場合は、市営住宅などの公営住宅にお住まいか、民間の住宅にお住まいかについてもお答えください。

※持ち家は家族名義分も含みます。

いずれか一つに○。

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1 一戸建て(借家) | |
| 2 一戸建て(持ち家) | |
| 3 アパート、マンション等の共同住宅(借家) | → { <u>いずれか一つに○。</u> |
| | 1 市営住宅などの公営住宅 |
| | 2 民間の住宅 |
| 4 アパート、マンション等の共同住宅(持ち家) | |
| 5 その他() | |

【健康・医療】

問7 「かかりつけ医」を決めていますか。

いずれか一つに○。

- | | |
|---------|----------|
| 1 決めている | 2 決めていない |
|---------|----------|

問8 「かかりつけ歯科医」を決めていますか。

いずれか一つに○。

- | | |
|---------|----------|
| 1 決めている | 2 決めていない |
|---------|----------|

☆「かかりつけ歯科医」とは☆

普段から、歯科治療や歯科健診、予防処置、歯みがき指導等を受けたり、歯や口の健康について気軽に相談したりできる歯医者さんのことです。

問9 あなた自身や身近な家族(親や配偶者など)の病気の名前や飲んでいる薬の情報、また、利用している介護サービスなどの医療・介護情報について、救急搬送の際や入院した際、新しく病院にかかった際に説明することができますか。

いずれか一つに○。

- 1 自分自身も家族についても、間違いなく説明できる
- 2 自分自身は説明できるが、家族については不安がある
- 3 自分自身も家族についても、説明にやや不安がある
- 4 自分自身も家族についても、説明できない

問10 あなた又はあなたのご家族が、心身の機能低下により、立ち座りや歩行など日常生活に不自由さが生じたとき、リハビリテーションについて医療・介護関係者に相談していますか。

いずれか一つに○。

- 1 相談している
- 2 相談していない
- 3 不自由なことがなく相談する必要がない
- 4 わからない

問11 日頃から信頼できる人と人生会議(ACP)をしていますか。

いずれか一つに○。

- 1 はい
- 2 いいえ

☆人生会議(ACP:アドバンス・ケア・プランニング)とは☆

もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて、前もって考え、繰り返し話し合い、共有する取組のことです。

問12 仮に、あなたが末期がんや進行性の疾患など治る見込みがない病気と診断され、余命6か月(もしくはそれより短い期間)と告げられたとした場合、どこで療養することを希望されますか。

いずれか一つに○。

- 1 最期まで自宅で療養したい ⇒問13へ
- 2 できるだけ自宅で過ごして、最期は医療機関に入院したい
- 3 なるべく早く医療機関に入院したい
- 4 老人ホームなど介護施設で療養したい
- 5 その他()⇒問13へ

副問1へ

副問1 【問12で「2,3,4」と答えた方のみにおたずねします】

「自宅」以外を選択した理由は何ですか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 自宅では家族に介護の負担がかかると思うから
- 2 自宅では必要な医療や介護が受けられないから
- 3 自宅で最期を迎えることができるという想像ができない(イメージがわからない)から
- 4 自宅で療養すると、費用がかかると思うから
- 5 病院等の専門機関で治療を受けたいから
- 6 その他()

【介護予防(フレイル予防)】

問13 フレイルについて知っていますか。

いずれか一つに○。

- 1 内容も言葉も知っている
- 2 内容は知らないが、言葉は知っている
- 3 内容も言葉も知らない

☆「介護予防(フレイル予防)」とは☆

いつまでもいきいきと自分らしい生活を送れるよう、健康づくりや生活習慣の改善に取り組むことで、介護が必要な状態になることを防いだり、もし介護が必要になってもそれ以上悪化しないように早めに予防することです。

そのためにはフレイル(加齢に伴い体力や社会性が衰えた状態のこと。適切な対応で元に戻ることが可能)を予防することが重要です。

問14 健康づくりや介護予防(フレイル予防)のために、日ごろから取り組んでいることはありますか。

いずれか一つに○。

- 1 ある ⇒ **副問1・2**へ
- 2 特にない ⇒ **副問3**へ

副問1 【問14で「1 ある」と答えた方のみにおたずねします】

健康づくりや介護予防(フレイル予防)のために、日ごろから取り組んでいることは何ですか。

あてはまるものすべてに○。

- | | |
|-----------------------------|---------------------|
| 1 休養や睡眠を十分にとる | 2 規則正しい生活を送る |
| 3 栄養バランスの取れた食事をとる | 4 定期的に健康診断を受ける |
| 5 酒やたばこを控える | 6 散歩や体操など定期的な運動を続ける |
| 7 口や歯の手入れをこまめに行う | 8 よく噛んで食べる |
| 9 できるだけ外出をして、友人・知人との交流機会をもつ | |
| 10 気持ちをなるべく明るくもつ | |
| 11 ボランティアなどの社会活動に積極的に参加する | |
| 12 その他() | |

副問2 【問14で「1 ある」と答えた方のみにおたずねします】

地域の会合、運動・趣味の会の活動などの「通いの場」への参加頻度を教えてください。

あてはまるものに○。

- | | | |
|-----------------|---|---------------|
| 1 週3回以上 | } | 副々問1 へ |
| 2 週1～2回 | | |
| 3 月1～3回 | | |
| 4 年に数回 | | |
| 5 参加していない ⇒問15へ | | |

副々問1 【問14の**副問2**に「1,2,3,4」と答えた方のみにおたずねします】

参加頻度は新型コロナウイルス感染症の流行前と比較して変化がありましたか。

いずれか一つに○。

- | | | | |
|-----------|--------|---------|--------|
| 1 大きく減少した | 2 減少した | 3 変わらない | 4 増加した |
|-----------|--------|---------|--------|

副問3 【問14で「2 特にない」と答えた方のみにおたずねします】

それはなぜですか。

あてはまるものすべてに○。

- | | |
|-------------------------|-------------|
| 1 興味・関心がない | 2 体力や気力がない |
| 3 どのようなことに取り組んでよいかわからない | 4 時間的な余裕がない |
| 5 金銭的な余裕がない | |
| 6 その他() | |

【生きがい・社会参加】

問15 現在、興味・関心があること、あるいは今後取り組んでみたいことはどのようなものですか。

あてはまるものすべてに○。

- | | |
|-------------------------------|--|
| 1 新たな資格や技術を身につけること | |
| 2 地域活動やボランティア活動等を通して社会貢献をすること | |
| 3 スポーツや体操、運動などをすること | |
| 4 芸術・文化活動などをすること | |
| 5 その他() | |
| 6 特に興味・関心のあることはない | |

問16 現在、市内では多くの高齢者が、様々な活動の担い手として活躍されています。
今後ますます高齢化が進む中、社会貢献についてどのように考えますか。

いずれか一つに○。

- 1 積極的に社会貢献したい
- 2 自分のできる範囲で社会貢献したい
- 3 高齢者に負担をもとめるべきではない
- 4 その他()

【ITリテラシー】

問17 インターネット等の活用状況について教えてください。

あてはまるものすべてに○。

- | | | |
|------------------|---|----------------|
| 1 自宅のパソコンを利用している | } | 副問1・2 へ |
| 2 スマートフォンを使っている | | |
| 3 タブレット端末を使っている | | |
| 4 携帯電話で電話だけしている | } | 副問3 へ |
| 5 何も使っていない | | |
| 6 その他() | | |

副問1 【問17で「1, 2, 3」と答えた方におたずねします。】

どのようなことをするために利用していますか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 アプリを利用している
- 2 ネット通販を利用している
- 3 SNS を活用し、情報発信している
- 4 情報を調べるために利用している
- 5 映像等を視聴するために利用している
- 6 各種サービス(行政サービスを含む)の登録・変更等に利用している
- 7 電子マネーを利用している
- 8 その他()

副問2 【問17で「1, 2, 3」と答えた方におたずねします。】

次の講座や制度で、利用したいものを教えてください

あてはまるものすべてに○。

- 1 インターネット等の危険性とその対策を学ぶ講座
- 2 継続的にスマホ操作等を学習・相談する制度
- 3 高齢者のデジタル人材育成のためのタブレット講座
- 4 デジタル機器を活用した行政サービスの活用講座
- 5 デジタル機器の高齢者サポート指導者の養成講座
- 6 その他()

副問3 【問17で「4, 5」と答えた方におたずねします。】

どのようなきっかけがあれば、インターネット等を利用したいと思いますか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 利用方法が学べる機会の提供
- 2 デジタル機器を利用しての人との交流の場の提供
- 3 通信費を気にせず利用できる場の提供
- 4 行政サービスをインターネット等で利用する際の利便性の向上
- 5 利用する必要を感じないため、そのような施策は必要ない
- 6 その他()

【地域との関わり・支援の状況】

問18 介護や病気などで困ったときに、相談できる人はどんな方ですか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 家族や友人・知人
- 2 ケアマネジャーなどの介護関係者やかかりつけ医などの医療関係者
- 3 区役所や地域包括支援センターなどの行政関係者
- 4 民生委員・児童委員や福祉協力員などの地域の役員
- 5 その他()
- 6 相談できる人はいない

問19 ふだん、近所で親しく付き合っている人はいますか。

いずれか一つに○。

- 1 何か困ったときに助け合える親しい人がいる
- 2 お互い訪問し合う程度の人がある
- 3 立ち話をする程度の人がある
- 4 あいさつをかわす程度の人がある
- 5 ほとんど付き合いはない
- 6 その他()

【終活】

☆「終活」とは☆

人生の終わりに向けての事前準備をしながら、これまでの人生を振り返り、残りの人生を自分らしく生き、自分らしい最期を安心して迎えるための活動で、終末期や亡くなった後の葬儀、お墓、財産の整理、身の回りの生前整理などを行うことです。

問20 終活についておたずねします。

あてはまるものすべてに○。

- 1 終活についてすでに準備している
- 2 終活について相談したいと思っている
- 3 終活について関心がある
- 4 終活とはどのようなものか知っている
- 5 終活という言葉聞いたことがある
- 6 全く知らない
- 7 その他()

【認知症】

問21 「認知症」は、年齢に関係なく誰でもかかりうる病気であることを知っていますか。

いずれか一つに○。

- 1 知っている
- 2 知らない

問22 「認知症」と聞いて、最初に思うことはどのようなことですか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 「もの忘れ」と「認知症」の違いがわからない
- 2 どこに相談に行ったらよいかわからない
- 3 どのような生活を心がけていれば、予防できるのかわからない
- 4 家族に迷惑をかけそうで心配である
- 5 「認知症」に対応した介護が受けられるかどうか心配である
- 6 「認知症」になっても、自宅で生活を続けられるか心配である
- 7 「認知症」になっても、自分の財産などを管理できるか心配である
- 8 「認知症」のことについて、あまりよく知らない(正しく理解できていない)
- 9 その他()
- 10 特に何も思わない

問23 認知症への理解が進むよう現在、認知症の人(本人)が、ご自身の体験談や思いなどを講演会などで発信する活動が広がりつつあります。このような活動を知っていますか。

いずれか一つに○。

- 1 知っている
- 2 知らない

問24 仮に、あなたのご家族が、認知症になった場合に、あなたはどのようなことを心配だと思いますか。また、現在、認知症のご家族がいる方はどのようなことを心配だと感じていますか

あてはまるものすべてに○。

- 1 身体的・精神的な負担が大きいのではないか
- 2 自分自身が介護できなくなったらどうしていけばよいか
- 3 経済的に苦しくなるのではないか
- 4 家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまうのではないか
- 5 自分(あなた)や大切な思い出を忘れてしまうのではないか
- 6 病院や診療所で治療しても、症状は改善しないのではないか
- 7 不要なものを大量に購入させられたり、詐欺的な勧誘の被害に遭ったりするのではないか
- 8 買い物や料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなってしまうのではないか
- 9 他人の物を壊したり、危害をくわえてしまうのではないか
- 10 特に心配はない
- 11 その他()

問25 認知症の取組として、北九州市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 認知症を早期に発見し、予防活動や専門医療につなげる体制づくり
- 2 医師や介護サービス事業者などの専門性の向上
- 3 認知症の人の権利や財産を守る制度の充実
- 4 認知症の人の在宅での安全な生活を支える取組
- 5 入所できる施設の充実
- 6 認知症の正しい理解を広め、認知症のよき理解者を増やす取組
- 7 認知症の本人や家族の意見を聞く取組
- 8 介護する家族同士の交流会など、家族の精神的な負担を軽減する取組
- 9 認知症カフェの充実など、認知症の人やその家族の居場所づくりの取組
- 10 認知症の人が他人の物を壊したり、危害をくわえてしまった場合の補償制度の整備
- 11 その他()

【虐待・権利擁護】

問26 虐待や財産をねらった詐欺など高齢者の権利を侵害するものに対する不安がありますか。

いずれか一つに○。

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1 不安はない | 2 どちらかといえば不安は感じない |
| 3 どちらかといえば不安を感じる | 4 不安を感じる |
| 5 どちらともいえない | 6 その他 |

問27 成年後見制度を知っていますか。

いずれか一つに○。

- | | |
|-------------------|-----------|
| 1 よく知っている | 2 少し知っている |
| 3 よく知らないが聞いたことがある | 4 全く知らない |

☆「成年後見制度」とは☆

認知症、知的障害、精神障害などの理由で判断能力が不十分になった場合に、財産の管理や、身のまわりの世話のための介護などのサービスの契約、遺産分割などの協議など、自分で行うことが難しい場合や、判断ができず自分に不利な契約を結ぶ被害にあう恐れがある場合など、判断能力の不十分な方々を保護し、支援する制度のことです。

問28 あなた自身が認知症などで判断が十分にできなくなったとき、「成年後見制度」を利用したいと思いませんか。

いずれか一つに○。

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

問29 「市民後見人」を知っていますか。

いずれか一つに○。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 よく知っている | 2 少し知っている |
| 3 よく知らないが聞いたことがある | 4 全く知らない(聞いたこともない) |

問30 「成年後見制度」については下記の窓口などで相談に応じてくれます。この中で知っているものはどれですか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 区役所、地域包括支援センター
- 2 北九州市成年後見支援センター
- 3 社会福祉協議会
- 4 法テラス
- 5 弁護士会
- 6 司法書士会
- 7 社会福祉士会
- 8 行政書士会
- 9 税理士会
- 10 その他()

問31 今後、高齢化が進む中、成年後見制度の利用の促進・充実を図っていくためにはどのようなことが必要だと思いますか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 成年後見制度についての周知・広報活動の推進
- 2 高齢者や障害のある人の権利擁護に関する相談窓口や相談体制の充実
- 3 成年後見制度の利用が必要な市民の把握や支援を広げるため、医療・福祉・法律などの専門職種を中心とした連携
- 4 本人の状態に応じた成年後見制度(類型:後見・保佐・補助)を選択することができるための支援の充実
- 5 成年後見人による金銭の横領などの不正防止の徹底
- 6 本人に身近な地域において住民が市民後見人として支えていく体制の構築
- 7 特にない
- 8 その他()

【地域包括支援センター】

問32 「地域包括支援センター」を知っていますか。

いずれか一つに○。

- 1 はい
- 2 いいえ

「地域包括支援センター」とは

地域包括支援センターは高齢者のための保健・医療・福祉・介護に関する「総合相談窓口」です。高齢者が住み慣れた地域で生活を続けられるよう、高齢者の幅広い相談に応じます。北九州市では、平成18年4月から区役所や出張所に設置しています。

保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャー(主任介護支援専門員)といった専門員が介護に関する相談に応じるほか、介護に関する支援、高齢者の権利擁護・虐待防止に関する取組、地域全体を包括的に支援していくためのネットワーク拠点としての活動を行っています。

平日の夜間や休日などの緊急時は、電話による相談対応も行っています。

【介護保険制度】

問33 ご家族やご親族の方からの介護は週にどのくらいありますか。(同居していない家族やご親族からの介護も含みます。)

いずれか一つに○。

- 1 ない
- 2 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない
- 3 週に1～2日ある
- 4 週に3～4日ある
- 5 ほぼ毎日ある

問34 現在、介護保険のサービスを利用していますか。

いずれか一つに○。

- 1 利用している ⇒副問1へ
- 2 利用していない ⇒副問2へ

副問1 【問34で「1 利用している」と答えた方のみにおたずねします】

この1年間で介護保険サービスの利用回数に変化がありましたか。

いずれか一つに○。

- | | |
|-------------------|--------|
| 1 利用回数が増えた | } 問35へ |
| 2 利用回数は変わらない | |
| 3 利用回数が減った ⇒副々問1へ | |

副々問1 【問34の副問1で「3 利用回数が減った」と答えた方のみにお尋ねします。】

サービスの回数が減った理由はなんですか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 家族が介護するようになった
- 2 要介護度が改善した、身体状況が改善した
- 3 ケアマネジャー等のアドバイスにより変更した
- 4 サービスの質や事業者の対応が満足いくものでなかった
- 5 利用料の負担が大きいため、利用をやめた
- 6 新型コロナウイルス感染症に感染しないか心配だから
- 7 その他()

副問2【問34で「2 利用していない」と答えた方のみにおたずねします】
介護保険のサービスを利用していない理由は何ですか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 介護サービスがなくても自分で生活できるから
- 2 病院などに入院しているから
- 3 家族の介護や介護保険以外のサービスで間に合うから
- 4 利用料を支払うことが困難だから
- 5 手続き方法などが分からないから
- 6 新型コロナウイルス感染症に感染しないか心配だから
- 7 その他()

問35 介護が必要な人を家族だけで支えるのではなく、社会全体で支えることを目指してつくられた介護保険制度について、どのようにお考えですか。

いずれか一つに○。

- 1 よいと思う
- 2 どちらかといえばよいと思う
- 3 どちらかといえばよくないと思う
- 4 よくないと思う

【保健・福祉サービスの利用】

問36 現在よりも、さらに介護が必要な状態になったとき、どこで生活することを希望されますか。

いずれか一つに○。

- 1 ホームヘルプサービスやショートステイなどを利用しながら、ずっと在宅で生活したい ⇒副問1へ
- 2 安否確認などのサービスを受けることができる高齢者向けの賃貸住宅等で生活したい ⇒副問2へ
- 3 入浴・排泄・食事・日常生活の介助等を受けることができる特別養護老人ホームなどの施設で生活したい ⇒副問2へ
- 4 その他()⇒問37へ

副問1 【問36で「1」と答えた方のみにおたずねします】

介護が必要な状態になったとき、自宅で暮らし続けるためには、
 どのようなことが**最も必要**だと思いますか。

いずれか一つに○。

- 1 家族の協力
- 2 地域における助け合い
- 3 入浴や食事などの介助を行うヘルパーや、デイサービスなどの介護サービス
- 4 NPO・ボランティアなどが行う生活援助サービス(見守り、買い物、家事援助、配食など)
- 5 医師による往診や緊急時に入院できるなどの医療体制が整っていること
- 6 自宅の改修や改築(段差の解消、手すりの設置など)
- 7 その他()

副問2 【問36で「2,3」と答えた方のみにおたずねします】

その理由は何ですか。

いずれか一つに○。

- 1 介護に協力できる家族がいないから
- 2 家族はいるが仕事などのため介護に協力できそうにないから
- 3 家族に迷惑をかけたくないから
- 4 専門的な介護が受けられ、安心できるから
- 5 その他()

問37 施設への入所申し込みを検討されていますか。

いずれか一つに○。

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1 すでに申し込みしている | } 副問1 へ |
| 2 検討している | |
| 3 検討していない ⇒問38へ | |

副問1 【問37で「1 すでに申し込みしている」「2 検討している」と答えた方のみにおたずねします】

入所申込みをしている理由は何ですか。

いずれか一つに○。

- 1 施設で生活したいから
- 2 在宅生活が不自由だから
- 3 家族の心身の負担が軽くなるから
- 4 家族の経済的な負担が軽くなるから
- 5 今は入所しなくても良いが、いざというときに入所できないと困るから
- 6 その他()

【負担に対する考え方】

問38 高齢化の進展に伴い、介護保険サービスにかかる費用が増大し、介護保険料も上昇していくことが見込まれています。このような状況をふまえ、保険料と介護保険サービスとの関係について、あなたのお考えにもっとも近いものはどれですか。

いずれか一つに○。

- 1 保険料の負担が増えても、もっとサービスを充実してほしい
- 2 真に必要なサービスに重点を置くなどして、できるだけ保険料の上昇を抑えるべきである
- 3 サービスを減らしてでも、保険料を下げるべきである

【生活環境】

問39 現在お住まいの住宅について、どのような問題を感じていますか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 住宅の構造(段差・階段)や設備(便所・浴室)が高齢者には使いにくい
- 2 防犯設備や防災設備が不十分である
- 3 家賃、税金、住宅維持費などの経済的負担が重い
- 4 その他()
- 5 何も問題は感じていない

問40 外出や移動のときに最も困っていることは何ですか。

いずれか一つに○。

- 1 駅や道路などに段差や階段が多く不便である
- 2 駅や路上の案内表示などが分かりにくく迷うことがある
- 3 公共交通機関が近くになく、不便である
- 4 その他()
- 5 特に困っていることはない

問41 外出する際に最も多く使用する移動手段は何ですか。

いずれか一つに○。

- 1 自分が運転する自動車
- 2 同居家族が運転する自動車
- 3 別居の家族や知人が運転する自動車
- 4 JR、バスなどの公共交通機関
- 5 タクシー
- 6 徒歩、自転車
- 7 その他()

【暮らし向き】

問42 現在の暮らし向きは、どうですか。

いずれか一つに○。

- | | |
|---|-------------------------------|
| 1 | 家計にゆとりがあり、まったく心配せずに暮らしている |
| 2 | 家計にあまりゆとりはないが、それほど心配せずに暮らしている |
| 3 | 家計にゆとりがなく、多少心配である |
| 4 | 家計が苦しく、非常に心配である |
| 5 | その他() |

問43 保健・医療・福祉関係(医療費・介護サービス費等)のサービスに対して支払っている、おおよその金額(月額)はどのくらいですか。

いずれか一つに○。

- | | | | |
|---|------------|---|-------------|
| 1 | 1万円未満 | 2 | 1万円以上3万円未満 |
| 3 | 3万円以上5万円未満 | 4 | 5万円以上10万円未満 |
| 5 | 10万円以上 | 6 | その他() |

【高齢者】

問44 あなたは、一般的に何歳頃から「高齢者」だと思いますか。

いずれか一つに○。

- | | | | |
|---|------------|---|-------|
| 1 | 60歳以上 | 2 | 65歳以上 |
| 3 | 70歳以上 | 4 | 75歳以上 |
| 5 | 80歳以上 | 6 | 85歳以上 |
| 7 | 年齢では判断できない | | |

【高齢者に対する福祉施策】

問45 今後、さらに高齢化が進んでいく中で、北九州市はどのような施策に力を入れていくべきだと思いますか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 健康づくりや介護予防に関連した事業の充実
- 2 高齢者の生きがいづくりや仲間づくりの支援・社会参加の促進
- 3 認知症高齢者対策の充実
- 4 財産管理や成年後見などの権利擁護の充実
- 5 虐待を防止する制度や取組の充実
- 6 高齢者の就業や起業、NPO活動などへの支援の充実
- 7 介護に関する相談窓口や相談体制の整備
- 8 在宅介護のためのヘルパーやショートステイなどのサービスの充実
- 9 特別養護老人ホームや認知症グループホームなどの介護施設の整備
- 10 高齢者に配慮した優良賃貸住宅などの住宅整備の促進
- 11 在宅で介護する家族に対する支援の充実
- 12 利用者が介護サービスを適切に選択することができる情報の提供
- 13 病院や診療所などの医療機関の充実
- 14 その他()

以降の質問については、
調査対象者ご本人を介護しているご家族の方がお答えください。
なお、介護をしている方がいない場合は、回答不要です。

【主な介護者】

問46 介護されている高齢者(以下、「要介護者」)からみた、主に介護をしている人(以下「主な介護者」という。)の続柄は、どれにあたりますか。

いずれか一つに○。

- | | |
|-------------|----------|
| 1 夫 | 2 妻 |
| 3 子 | 4 子の配偶者 |
| 5 孫 | 6 兄弟・姉妹 |
| 7 その他の親族() | 8 親族以外の者 |

問47 主な介護者の性別をお聞かせください。

いずれか一つに○。

- | | | |
|-----|-----|-------|
| 1 男 | 2 女 | 3 無回答 |
|-----|-----|-------|

問48 主な介護者の年齢は、どれにあたりますか。

いずれか一つに○。

- | | |
|----------|----------|
| 1 20歳未満 | 2 20～29歳 |
| 3 30～39歳 | 4 40～49歳 |
| 5 50～59歳 | 6 60～69歳 |
| 7 70～79歳 | 8 80歳以上 |

問49 主な介護者は、要介護者と同居していますか。

いずれか一つに○。

- | | |
|----------|-----------|
| 1 同居している | 2 同居していない |
|----------|-----------|

問50 ご家族やご親族の中で、ご本人の介護を主な理由として、過去1年間の間に仕事を辞めた方はいますか。(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません。) ※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

いずれか一つに○。

- 1 主な介護者が仕事を辞めた
- 2 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職を除く)
- 3 主な介護者が転職した。
- 4 主な介護者以外の家族・親族が転職した。
- 5 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない。
- 6 わからない

問51 主な介護者の現在の勤務形態はどれにあたりますか。

いずれか一つに○。

- | | | |
|----------------------------|---|--------------------------|
| 1 フルタイムで働いている | } | 副問1・副問2・副問3・副問4 へ |
| 2 パートタイムで働いている | | |
| 3 以前は働いていたが、介護をきっかけに仕事を辞めた | } | 問52へ |
| 4 以前から働いていない | | |

※「パートタイム」とは、1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

副問1 【問51で「1 フルタイムで働いている」「2 パートタイムで働いている」と答えた方のみにおたずねします】

主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 特に行っていない
- 2 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら働いている
- 3 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている
- 4 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
- 5 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている

副問2 【問51で「1 フルタイムで働いている」「2 パートタイムで働いている」と答えた方のみにおたずねします】

主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
- 2 介護休業・介護休暇等の制度の充実
- 3 制度を利用しやすい職場づくり
- 4 仕事と介護の両立に関する情報の提供
- 5 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
- 6 介護をしている従業員への経済的な支援
- 7 その他()
- 8 特にない

副問3 【問51で「1 フルタイムで働いている」「2 パートタイムで働いている」と答えた方のみにおたずねします】

現在、介護のために介護者が仕事を辞めることや、介護と育児を同時に担うなど、介護者を取り巻く環境も変化しています。介護者の負担を軽くするために、どのような支援が必要だと思いますか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 子育てや介護のために一定期間休める仕組み
- 2 入社・退社時間を自分の都合で変えられる柔軟な労働制度(フレックスタイム制)
- 3 テレワークや在宅勤務等の導入
- 4 保育施設等の整備
- 5 介護施設等の整備
- 6 子育て・介護に関する相談窓口の一本化
- 7 その他()

副問4 【問51で「1 フルタイムで働いている」「2 パートタイムで働いている」と答えた方のみにおたずねします】

主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。

いずれか一つに○。

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1 問題なく、続けていける | 2 問題はあるが、何とか続けていける |
| 3 続けていくのは、やや難しい | 4 続けていくのは、かなり難しい |

問52 主な介護者は現在、子育てをしていますか。

あてはまるものすべてに○。

- | | | |
|-----------------|----------|--------|
| 1 未就学児の子育てをしている | } 副問1・2へ | } 問53へ |
| 2 小学生の子育てをしている | | |
| 3 中高生の子育てをしている | | |
| 4 子育てはしていない | | |
| 5 その他() | | |

副問1 【問52で「1,2,3」と答えた方のみにおたずねします】

あなたはふだん、子育てと介護(ダブルケア)に対して負担を感じていますか。

あてはまるもの一つに○。

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 非常に負担を感じる | 2 やや負担を感じる |
| 3 どちらともいえない | 4 あまり負担を感じない |
| 5 全く負担を感じない | |

副問2 【問52で「1,2,3」と答えた方のみにおたずねします】

ダブルケアが始まる前と後の就業状況に変化はありましたか。

あてはまるものすべてに○。

- | | | |
|-----------------|---|----------|
| 1 仕事を辞めた | } | ⇒副々問2へ |
| 2 業務量や労働時間を減らした | | |
| 3 変わらない | | ⇒副々問1・2へ |
| 4 業務量や労働時間を増やした | } | ⇒副々問2へ |
| 5 仕事を始めた | | |
| 6 もともと働いていない | } | ⇒問53へ |
| 7 その他() | | |

副々問1 【問52の副問2で「3 変わらない」と答えた方のみにお尋ねします。】

就業状況が変わらなかった理由はなんですか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 子どもが育児サービス(保育所・放課後児童クラブ等)を利用している
- 2 被介護者をデイサービス等に通所させている
- 3 民間企業・団体等の支援(家事代行サービス等)を利用している
- 4 勤め先の制度(テレワーク等の柔軟な働き方を可能にする仕組み)がある
- 5 子育てや介護との両立が可能な勤務条件(労働時間等)で働くことができる
- 6 家族(配偶者や親族等)の支援がある
- 7 居住する地域の支援(コミュニティの子育てシェア等)の支援がある
- 8 仕事を行うことに対し、被介護者の理解がある
- 9 周囲(家族等)が、子育てや介護よりも仕事を優先すべきと考えている
- 10 勤め先の人員体制や業務量を考えると、周囲に迷惑がかかる
- 11 業務量や労働時間等を減らすことにより給料等が減額になると困る
- 12 その他()

副々問2 【問52の副問2で「1,2,3,4,5」と答えた方のみにお尋ねします。】

今後どのような働き方(働かない場合も含めて)をしたいと考えていますか。

いずれか一つに○。

- 1 今後も同じ仕事(職種・職場)で働き続けたい
- 2 労働時間が短いなど、より負担の軽い仕事(職種・職場)に変えたい
- 3 給料が高いなど、より経済的条件のよい仕事(職種・職場)に変えたい
- 4 仕事を辞めたい

【介護の状況】

問53 主な介護者がこれまで介護をしてきた期間は、どのくらいですか。

いずれか一つに○。

- | | |
|-----------|------------|
| 1 1年未満 | 2 1年～3年未満 |
| 3 3年～5年未満 | 4 5年～10年未満 |
| 5 10年以上 | |

問54 主な介護者が現在介護をするうえで困っていることはありますか。

いずれか一つに○。

- | | |
|--------------------|-----------|
| 1 ある⇒ 副問1 へ | 2 ない⇒問55へ |
|--------------------|-----------|

副問1【問54で「1 ある」と答えた方におたずねします。】

困っていることは何ですか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 精神的な負担感がある(将来に不安を感じる、相談相手がいない等)
- 2 身体的な負担感がある(疲労が蓄積している、睡眠不足等)
- 3 経済的な負担感がある(家計を圧迫している、貯金を切り崩している等)
- 4 介護を手伝ってくれる身近な存在がいない
- 5 利用できる社会資源がわからない
- 6 仕事や子育て等と介護の両立が困難である
- 7 介護や家事の方法がわからない
- 8 その他()

問55 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、お答えください。(現状で行っているか否かは問いません。)

あてはまるもの3つまで○。(最大3つまで)

- | | |
|------------------------|---------------|
| 1 日中の排泄 | 2 夜間の排泄 |
| 3 食事の介助(食べる時) | 4 入浴・洗身 |
| 5 身だしなみ(洗顔・歯みがき等) | 6 衣服の着脱 |
| 7 屋内の移乗・移動 | 8 外出の付き添い、送迎等 |
| 9 服薬 | 10 認知症状への対応 |
| 11 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等) | |
| 12 食事の準備(調理等) | |
| 13 その他の家事(掃除、洗濯、買い物等) | |
| 14 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |
| 15 その他() | |
| 16 不安に感じていることは、特にない | |

問56 主な介護者が、介護のことで困ったときに相談する相手は、どんな方ですか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 家族や友人・知人
- 2 ケアマネジャーなどの介護関係者やかかりつけ医などの医療関係者
- 3 区役所や地域包括支援センターなどの行政関係者
- 4 民生委員・児童委員や福祉協力員などの地域の役員
- 5 勤務先
- 6 その他()
- 7 相談できる人はいない

問57 主な介護者が、介護をすることが困難な時、どのように対処されていますか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 ショートステイやデイサービスなどの介護保険のサービスを利用している
- 2 他の家族に一時的にみてもらっている
- 3 近所の人や友人に一時的にみてもらっている
- 4 自分が無理をしても介護をしている
- 5 その他()

問58 主な介護者が感じている介護の負担感はどの程度ですか。

いずれか一つに○。

- | | |
|--------------|-----------|
| 1 かなり負担である | 2 やや負担である |
| 3 それほど負担ではない | 4 負担ではない |

【高齢者虐待】

問59 主な介護者が、要介護者への虐待に至る危険性を感じたことはありますか。

いずれか一つに○。

- 1 すでに虐待にあたる行為をしているのではないかと思う
- 2 今後、介護が続けば、虐待などに至る危険性があると思う
- 3 虐待などに至る危険性はない
- 4 その他()

問60 高齢者への虐待は、どのようなことが要因で起こると思いますか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 高齢者本人に認知症による徘徊、幻覚、妄想、不潔行為などの症状があるため
- 2 高齢者本人の身体的な介助に手間がかかる
- 3 高齢者本人の性格や人格に問題がある
- 4 介護者の介護疲れや精神的なストレス
- 5 介護者の家族や親族などの協力がなく、一人で抱え込んでしまっている
- 6 介護者に認知症や介護に対する理解や知識が不足している
- 7 家庭内の人間関係に過去から問題があった
- 8 介護者自身が経済的に自立しておらず、高齢者本人の収入で生計をたてている
- 9 その他()

【高齢者に対する福祉施策】

問61 福祉に関する相談窓口がどこにあれば、気軽に立ち寄れますか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 市役所・区役所
- 2 市民センター
- 3 駅ビルの中など、通勤途中に立ち寄れる交通の便が良い場所
- 4 勤務先
- 5 子育て関連施設
- 6 介護関連施設
- 7 その他()

問62 介護や福祉の相談にメールやオンラインを利用したいですか。

いずれか一つに○。

- 1 はい
- 2 いいえ
- 3 メールやオンラインの使い方がわからない

問63 今後、さらに高齢化が進んでいく中で、北九州市はどのような施策に力を入れていくべきだと思いますか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 健康づくりや介護予防に関連した事業の充実
- 2 高齢者の生きがいづくりや仲間づくりの支援・社会参加の促進
- 3 高齢者の就業や起業、NPO活動などへの支援の充実
- 4 認知症高齢者対策の充実
- 5 財産管理や成年後見などの権利擁護の充実
- 6 虐待を防止する制度や取組の充実
- 7 介護に関する相談窓口や相談体制の整備
- 8 在宅介護のためのヘルパーやショートステイなどのサービスの充実
- 9 特別養護老人ホームや認知症グループホームなどの介護施設の整備
- 10 高齢者に配慮した優良賃貸住宅などの住宅整備の促進
- 11 在宅で介護する家族に対する支援の充実
- 12 利用者が介護サービスを適切に選択することができる情報の提供
- 13 病院や診療所などの医療機関の充実
- 14 その他()

ご協力ありがとうございました。

調査票は同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに

1月10日(火)までに投函してください。